

思い出を胸に、新しい一歩へ。

日野学園で卒業式

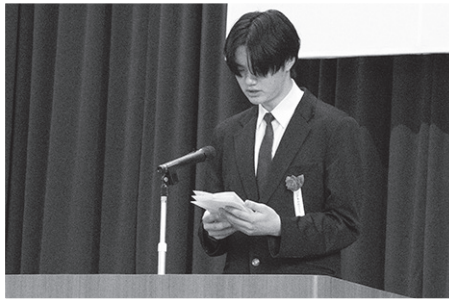


▲日野学園生としての最後の合唱

3月10日、日野学園で卒業式が行われ、10人の生徒が新たな門出を迎えました。卒業生代表の青戸優希さんは、「この3年間毎日幸せな日々を送れたのも皆さんのおかげ。たくさんのお思い出を共につくってくれてありがとうございます」と、答辞を述べました。最後は全校児童生徒が拍手で見送り、卒業生を明るく送り出しました。



◀卒業生代表の青戸さん



若者と地域を結ぶ、あたたかな交流の場

日野高校卒業生による日野郡×首都圏交流会



地域の方々に見守られ、和やかに交流

3月13日から15日の3日間、日野郡内で首都圏の若者との交流会が行われました。今回の交流会を企画したのは、日野高校OBの廣瀬芳輝さん。高校時代の縁を大切にしたい、首都圏の若者に日野郡を知ってほしいという思いから企画し、6人の大学生が参加しました。13日には、リノベーションLabで、地元の方々の手料理を食べながら地域の方々と大学生の交流が行われました。参加した学生は、「都会では体験できないことが出来て良い日になった」と、刺激を受けていました。

桜に包まれて、地域の安全を誓う

日野町消防出初式・任命式



満開の桜のもと一斉放水を行う町消防団

町消防団（西村和宏団長）の出初式・任命式が、4月5日、旧黒坂小学校グラウンドで開かれました。式典では、日本消防協会表彰など、優秀な団員へ表彰状が授与されました。式典後は、黒坂駅前から町公民館前まで、消防車と消防団員が更新し、カワコ公園向かいの日野川沿いで一斉放水を行いました。多くの住民が見守る中、団員たちは防火・防災、そして一年の活躍を誓いました。



集落支援員 だより

SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明

担当地区：菅福



12月26日の初出勤から寒さに震えた2月8日衆院選投開票の大雪の日まで、今年も除雪隊の皆さんは大忙しでした。軽トラに除雪機を積んで高齢者のお宅に出向くご夫婦、駅前すまいるの長い歩道を鼻をすすりながら何度も往復もするお父さん、何度も何度も丁寧に駅前すまいるの広場をかくお父さん。

雪かきの後、住舞溜すまいるに寄って温かい珈琲を飲みながら、「久谷は雪が多いなあ」「今年の雪は水分が多くて詰まっていけんわ」と疲れも見せずに、あたりまえのように話をされるのが印象的でした。皆さん、ほんとうに、今年もありがとうございました。



日本海新聞ふるさと大賞2025 日野町の部表彰式



県内の地域発展やスポーツ振興に功績のあった人を表彰する、日本海新聞ふるさと大賞・日野町の部の表彰式が、3月10日、町役場で行われました。

今回は、地域貢献賞に JR 伯備線「根雨駅」が、スポーツ文化功労賞に緒形康介さん（根雨）の2組が選ばれ、賞状と記念品が贈られました。おめでとうございます。

日野郡広域景観形成行動計画の策定について

日野郡3町をつなぐ日野川や、「日野郡サイクリングロード（令和7年3月制定）」周辺には、四季折々の美しい自然景観や地域で育まれた生活や生業とともにある景観資源が多数存在します。

これらの景観資源を整理し、保全し、磨き上げ、さらなる活用を進めるとともに、交流人口の拡大やさらなる地域活性化につなげるため、「日野郡広域景観形成行動計画」を策定しました。

自然景観、街並み景観を楽しめる場所に設置される各種案内や資材等について、色鮮やかな看板、のぼり旗などをできるだけ少なくし、景観に馴染む色（焦げ茶色）などを多く使った掲示物を設置する取り組みは全国的にも増えてきています。

この計画は、看板などが景観を阻害しないよう努め、また、歴史ある街並みなどを多くの方に楽しんでいただくことができるよう、日野郡3町で行動計画を定めたもので、住民の皆さまの行為を規制・制限するものではありません。計画について知っていただき、ご理解ご協力をお願いします。

【問合せ先】役場産業振興課（電話 72-2101）

コンセプト「つなぐ・つどう」

日野郡の景観資源を次世代につなぎ、多くの人がつどう場所となることを目指し、コンセプトとして設定しています。

